とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち
コープCSネット便り
中国・四国
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報
とくしま かがわ えひめ こうち
第54号
発行
2019年5月15日
通巻54号

CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

2019年度第1回 重点商品試食学習会

2019年4月26日(金)10時より 2019年度第1回となる重点商品試食学習会がおかやまコープ オルガホールで開催され 中国地区5会員生協から54名の参加がありました

日本生協連ブランド戦略本部
駒形氏

大隅地区養まん漁業組合　奥園氏

テレビCMを放送 今春も中国5県で オリジナルテレビCMを放送しました!

4月12日(金)から、中国5県でオリジナルテレビCMを放送しました。

今春のテレビCMは、昨春に引き続き擬人化した商品が組合員さんや配送担当者と会話する楽しい仕上がりになっています。

CONTENTS

ページ
2 3 オリジナルテレビCMを放送!
4 2018年度もずく基金贈呈式 2018年度災害復興支援・応援積立報告
5 2019年度第1回重点商品試食学習会
6 7 コープCSネット トピックス
8 会員生協 トピックス

テレビCMを放送 今春も中国5県でオリジナルテレビCMを放送しました!

4月12日(金)から、中国5県でオリジナルテレビCMを放送しました。
今春のテレビCMは、昨春に引き続き擬人化した商品が組合員さんや配送担当者と会話する楽しい仕上がりになっています。30歳前後の子育て層に向けて、商品を軸としたインパクトのあるCMとWeb広告で商品への認知を広げていきます!

テレビCMに採用された商品は、「CO・OP大豆ドライパック」と「CO・OPコアノンロール」。
2商品とも発売から30年以上のロングセラー商品です。テレビCMの商品を選定する中で、会員生協の宅配事業関係の部署だけでなく、商品活動担当部署や広報担当部署にもご意見を聞きながら、生協らしい商品、生協らしい活動を加味し、商品を選定していきました。商品は、生協ではお馴染みの商品ですが、テレビCMを通じて「一般の方にも広く商品の良さを知ってもらいたい!」と考えています。

放送期間 2019年4月12日(金)～2019年4月27日(土)
商　品 CO・OP大豆ドライパック、CO・OPコアノンロール(ワンタッチコアノンを紹介)

CO・OP 大豆ドライパック

商品特長

下ごしらえ不要。缶を開けてそのまま使えるので調理時間も短縮。大豆の水分を使って真空状態で蒸し上げているので、豆そのもののうま味、ホクホクとした食感が楽しめます。

【一口メモ】
誕生は1988年(平成ではなく昭和生まれ)。同じ年の有名人は瀬戸大橋です。

「大ドラくん」たち

メニューに悩む組合員さんに
「サラダにどう?」
「ハンバーグでしょ?」
「煮物!」
「かき揚げ!」
「そのまま食べてもおいしいよ!」と提案していきます

CO・OP コアノンロール

商品特長

やわらか加工を施した芯のないトイレットペーパー。再生紙100%の原料で、130mの長巻き。ワンタッチタイプは芯棒なしで、いつものホルダーにそのまま付けられます。

【一口メモ】
誕生は1983年(昭和59年)。関西の生協から利用がスタートしました。中国四国地方で利用が開始されたのは1984年。福沢諭吉の1万円札が登場した年です。

「コアノンちゃん」

組合員さんのお子さんと
「芯がないから」
「ゴミがでない!」
「巻が長いから」
「交換が少ない!」と
商品特長を掛け合いながら、アンゴラ共和国の学校づくりを応援するインテリメガネ女子です

～ オリジナルテレビCMに連動して ランディングページを一新！ ～

30歳前後の子育て層をターゲットにした時に「生協の魅力」「商品の魅力」に絞り、ランディングページの校正を考えていきました。日々の暮らしをサポートする、生協の「かんたん・べんり」が伝わるように工夫しました。また、Webから加入できるページにもリンクしています！

子育て層の忙しい毎日におすすめの商品を提案
テーマは「かんたん・べんり が おいしい」です

コープの宅配の便利さをアピール

ランディングページはこちら

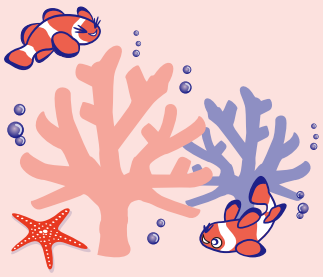
中国地区5会員生協事業所には、ウェットティッシュやポスターを送り、未加入者へのアピールに役立てていただいています

2018年度「もずく基金」を贈呈

2019年4月5日(金)恩納村ふれあい体験学習センター(沖縄県恩納村)において「第8回サンゴ礁再生事業支援協議会」総会及び2018年度「もずく基金」贈呈式を行いました。

当日はサンゴ礁再生支援事業協議会委員(生協関係者含む)、恩納村、恩納村漁業協同組、株式会社井ゲタ竹内、コープおきなわの皆様、など24名が列席しました。2018年度は2,205,697円を贈呈しました。

中国地区5会員生協とコープかがわの組合員さんに対象商品の「もずく商品」をご利用いただき、過去2番目に多い贈呈金額となりました。2018年度の基金で約780本のサンゴの植付を予定しています。



「もずく基金」って？

「恩納村産味付太もずく」などの対象商品の利用金額の一部を基金として積立てています。生態系を守り、命を育む海を未来に渡って保全するために、恩納村のサンゴを守るのに役立てているのが「もずく基金」です。

2018年度災害復興支援・応援積立 報告

コープCSネットでは、「災害復興支援・応援積立」として、2018年4月1回～2019年3月3回までの対象商品の供給代金の一部を積み立ててまいりました。

2018年度「災害復興支援・応援積立」総額は

8,098,723円となりました

集まった積立金は、中国地区5会員生協に振り分けました。2018年度の「災害復興支援・応援積立金」の用途は会員生協で決定され、被災者支援、支援物資の提供や被災地域へのボランティア活動への支援など、多岐にわたる支援活動を実施されています。

2019年度「災害復興支援・応援積立」

期間：2019年4月1回～9月4回
対象商品案内チラシ：
HelloCoop、CIEL、Deli-co、ここくる

中国地区５会員生協の食品案内チラシの表紙で企画する商品ご利用１点につき１円を積立てます！大規模災害による甚大な被害が発生した際に、被災者支援・支援物資の提供などに活用いたします。

2019年度第1回 重点商品試食学習会

開催日時：2019年4月26日(金) 10:00～16:00
開催場所：おかやまコープ　オルガホール（岡山市北区奉還町）

日本生協連の商品政策について説明する日本生協連ブランド戦略本部　駒形氏

2019年度第１回となる重点商品試食学習会（以下、試食学習会）がおかやまコープオルガホールで開催され、中国地区５会員生協から54名の参加がありました。

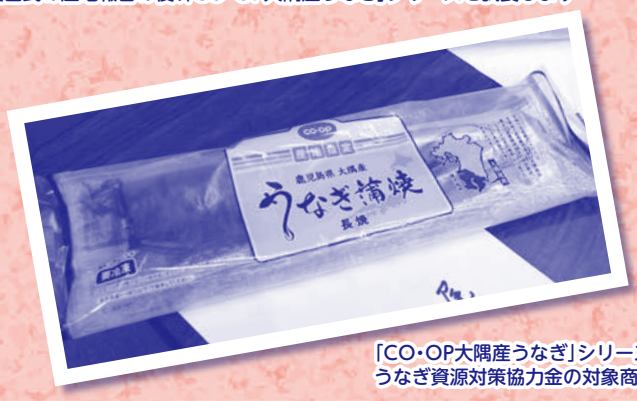
今回の試食学習会は昨年までと少し内容を変更し、日本生協連の商品政策（「ヘルシーコープ」「エシカル消費」「きらきらステップ」などの概要）や、コープCSネットの年度方針について報告しました。

上期の重点商品の柱である「CO･OP大隅産うなぎ」シリーズは、昨年同様に大隅地区養まん漁業組合より奥園久人氏を招き、産地の状況報告と商品学習、試食学習を行いました。また、「CO・OP　ただの炭酸水」「CO・OP プリっとしたブラックタイガーエビフライ」についても、製造メーカーを招き、試飲・試食学習を行いました。グループ交流では「土用の丑」をテーマに組合員へのおすすめ方法などを交流しました。参加者からは「担当者が自分の思いをもって良さを伝えることが大切」などの感想をいただき、終了後のアンケートでも「よく理解できた」「ほぼ理解できた」という結果が多く、商品についての理解を深めることができました。

「CO･OP大隅産うなぎ」の産地報告をする大隅地区養まん漁業組合　奥園氏

奥園氏の産地報告の後、「CO･OP大隅産うなぎ」シリーズを試食します

グループ交流では「土用の丑」をテーマに組合員へのおすすめ方法を交流しました



「CO･OP大隅産うなぎ」シリーズ
うなぎ資源対策協力金の対象商品です

グループワークでの交流内容を発表しました

コープCSネット　トピックス

トピックス1　2018年度商品活動交流会

開 催 日：2019年２月20日(水)・21日(木)　２日間
開催場所：ホテルグランヴィア岡山（岡山市北区駅元町）
参　　加：中国地区５会員生協組合員理事・組合員・職員、取引先、日本生協連、コープCSネット理事・コープCSネット役職員　計 46 名

2019年２月20日(水)・21日(木)岡山市において『2018年度商品活動交流会』を開催しました。
商品活動交流会は、商品活動の中で培ってきたことを「みんなで伝えあい共有化する場」として定着しています。初日は、１年間に組合員さんが活動してきたことを発表、日本生協連・取引先による商品紹介などが行われました。２日目は、グループワークで事例交流を行いました。

グループワークでは、自生協での取り組みやエシカルについて交流しました。

グループワークで話したことを発表
(テーマは『エシカル』)

トピックス2　2018年度第2回広報担当者交流会

開 催 日：2019年２月14日(木)
開催場所：おかやまコープ　オルガ
（岡山市北区奉還町）
参　　加：中国地区四国地区８会員生協
広報担当者　９名

広報担当者交流会

日本生協連　河野氏による講演学習

日本生協連より講師を招き「Instagramの活用」をテーマに講演学習を行いました。専門的なSNSの活用事例の報告に加え、事前質問や当日質問にも丁寧に回答していただきました。後半では、「伝えることの工夫」として「CO・OP大豆ドライパック」を題材にグループワークを行いました。広報ターゲットを56-69歳、26-39歳に分けて、ターゲットに向けて、お伝えする特長を交流をしました。同じ商品でも56-69歳は『健康配慮、おいしさ』、26-39歳は『利便性、おいしさ、価格』と、少し違ったアプローチになりました。交流では広報の立場からテレビCMについて意見交換を行いました。次回の広報担当者交流会は2019年７月を予定しています。

トピックス3　2018年度第2回組合員理事懇談会

開 催 日：2019年３月７日(木)
開催場所：岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町）
参　　加：中国地区四国地区９会員生協　組合員理事　９名

2019年度第２回目となる組合員理事懇談会を岡山市で開催しました。事業報告としてコープCSネット塩道専務理事より「2019年度方針(案)」の説明がありました。その他、日本生協連より2019年度の取り組み、株式会社ナリス化粧品から講師を招きフリーリアシリーズについてミニ学習、コープCSネットから2018年下期組合員の声改善委員会の報告を行いました。次回の組合員理事懇談会は2019年７月を予定しています。

組合員理事懇談会

トピックス4 2018年度 第2回品質管理担当者研修会

開 催 日：2019年３月15日(金)
開催場所：広島市東区文化センター　２階「ギャラリー」(広島市東区)
参　　加：中国地区四国地区８会員生協職員、コープCSネット職員　計 32 名

講演の様子

「宅配事業 HACCP」への対応の一環として、会員生協の品質管理・宅配事業の職員を対象とした学習会を開催しました。講師には、生協しまね　松尾しんじ氏を招き「HACCPの基礎知識」と、生協しまねで全国の生協に先駆けて取り組まれた「宅配事業HACCP」の実例を紹介いただきました。

参加者からは、「HACCPの知識、制度化、導入までの工程がよく理解できた」「HACCP研修会、講習会などは参加したことがあるが、具体的に宅配事業のセンター・支所に置き換えてイメージすることが難しかった。生協しまねの事例紹介があり、大変参考なった」と高い評価を得ました。

生協しまね　松尾しんじ氏

トピックス5 第26回重点商品学習交流会

開催日時：2019年2月28日(木)　10:15～16:00
開催場所：おかやまコープ　オルガホール（岡山市北区奉還町）
参 加 者：中国地区四国地区９会員生協　宅配事業関係職員　74 名
　　非食品部会員及びコープ CS ネット非食品分野取引先様　28 社 60 名

優秀者として表彰されたとくしま生協 立川さん(左)、コープCSネット小泉理事長(右)

2019年2月28日(木)おかやまコープ　オルガホールにおいて、「コープCSネット第26回重点商品学習交流会」を開催しました。コープCSネット非食品分野の商品を対象とした学習交流会で、今回で26回目を迎えます。優秀者表彰の他、2019年度上期供給促進商品について学習交流を行います。当日は中国地区四国地区９会員生協から74名、オブザーバー参加としてコープ九州事業連合より３名、非食分野の取引先28社60名の参加がありました。2019年上期の「供給促進商品(組合員さんへおすすめしたい商品)」は、中国地区四国地区９会員生協の宅配事業関係の職員が中心となって選定しており、学習内容をもとにおすすめ方法についてグループワークを行いました。

商品説明の後、中国地区四国地区9会員生協の職員がおすすめ方法についてグループワークを行いました

トピックス6 コープCSネット虹の会共催 18年度農産産直品 品質保証説明会

開 催 日：2019年3月14日(木)　14:00～17:00
開催場所：ホテルニューヒロデン（広島市南区）
参加対象：コープ CS ネット農産分野取引先、生産者の方々
参加状況：35 企業団体・生産者 58 名　中国地区四国地区会員生協 8 名
　　コープ CS ネット役職員 14 名

有機農法やGAPについて講演する
株式会社折笠農場　折笠健(まさたけ)氏

広島市において「18年度農産産直品　品質保証説明会(以下、説明会)」を開催しました。この説明会は、コープCSネットが目指す農産産直品の品質保証を取引先に報告する場であるとともに、農産関係の取引先・生産者が、コープCSネットと一緒に農産物の品質保証に取り組むための学習や意思統一を図る場でもあります。当日は、JAや全国の生産者の皆様、中国地区四国地区会員生協の職員に参加いただきました。

コープCSネットからは農産事業状況及び農産品品質改善の報告を行いました。

記念講演では、株式会社折笠農場様による講演を行いました。株式会社折笠農場様は、北海道（十勝・知床・富良野）でじゃがいもや玉ねぎを主に生産している農業法人で、約20年前より安全・安心を追求し、自然栽培にチャレンジしています。JAS有機認証はもとより、2018年には小麦と大豆で GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）を取得され、日々、食品安全・環境保全・労働安全等の持続可能を確保するために努力されています。「折笠農場グループのあゆみ　これから目指すものとは」をテーマとした講演では「GAP取得」に至るまでの過程や、なぜ、GAPが必要なのか、食べ比べや試食会を実施する中での消費者とのコミュニケーションの大切さ、消費者ニーズに応える生産を続けてきたことなどを実例にあげながら説明されました。参加者からは「持ち帰り実践したい」という感想が多く聞かれ、有意義な講演となりました。

会員生協トピックス

2019年度 鳥取県生協・生協しまね・生協ひろしま合同新入協職員研修会

日　程：2019年4月3日(水)～4月4日(木)　2日間
参加者：18名（鳥取県生協、生協しまね、生協ひろしま）、事務局5名

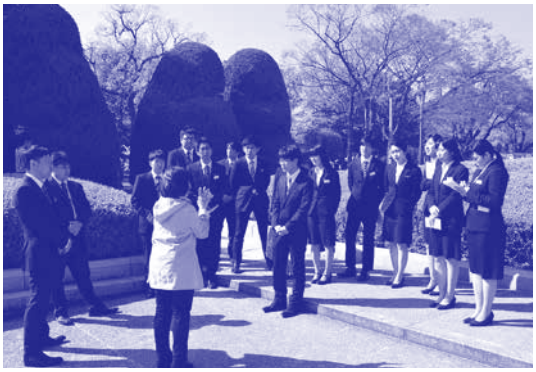
メーカーでの工場見学の後、広島名物「お好み焼き」体験

会員生協とコープCSネットが協力して開催している合同新人協職員研修会が開催され、鳥取県生協、生協しまね、生協ひろしまから18名の新入協職員の参加がありました。この新入協職員研修会は、新入協職員同士が交流しコープ商品の良さや物流の流れを学習、被爆地広島から平和の尊さを学ぶことを目的としています。

今年の研修会は、尾道物流センターなどのコープCSネットの物流施設を見学、メーカーでの工場見学とお好み焼き体験、平和学習を行いました。平和学習では、似島遺構見学（陸軍検疫所など）や川野登美子さんによる被爆証言、平和公園での碑めぐり(平和学習)を行いました。特に川野登美子さんによる証言では、同級生で親友だった佐々木禎子さん（「原爆の子の像」のモデル）との思い出や、「原爆の子の像」建立の経緯についてお話いただき、参加者全員が真剣な面持ちでお話しに聞き入っていていました。

2019年度新入協職員と川野登美子さん

佐々木禎子さんとの思い出を語る川野登美子さん


平和公園での碑めぐり（平和学習）の様子

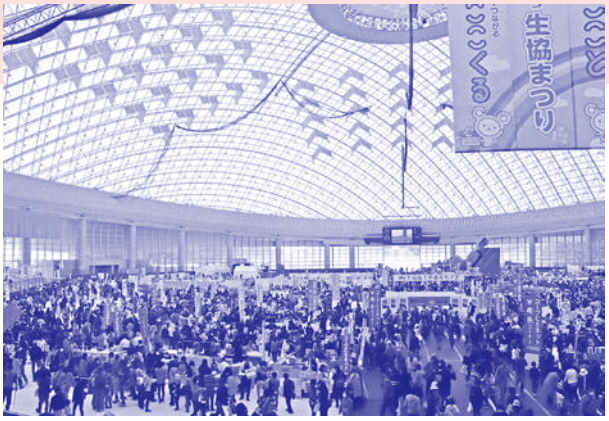
コープやまぐち第44回生協まつり　約15万人が来場!!

日程：2019年3月30日(土)・31日(日)
場所：山口きらら博記念公園

2019年3月30日(土) 31日(日)に、コープやまぐち第44回生協まつりが山口きらら博記念公園で開催され、2日合わせて約15万人もの方にご来場いただきました！

コープやまぐち　岡崎理事長

オープニングセレモニーの様子



きららドーム内の様子
多くの方にご来場いただきました

募金のご報告

今年も行われた「忘れない！東日本大震災　つながろう CO・OP アクション」。

２日間で行った東日本復興支援の取り組みの中で、2万8,006円の募金が集まりました。また、岩手・宮城の仮設住宅等で被災者の方の生きがいづくりや生活再建のために作られた手作り品等の販売も行い、たくさんの方にご協力いただきました。

今回の募金は、福島の子ども達への支援をはじめ、被災地への支援活動へ活用させていただきます。

本当にありがとうございました。

発行:2019年5月15日･通巻54号　発行責任者:小泉信司　　発行事務局:総合企画室
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合　〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1丁目1-46　TEL:082-236-6800

VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。
見つめよう 暮らしと地球 資源を有効に、古紙を配合した紙を使用しています。